

## Salt & Seawater Science Seminar 2019 の開催のご案内

2019年度公開講演会 Salt & Seawater Science Seminar 2019 を12月6日(金) 公益財団法人塩事業センター海水総合研究所で開催いたします。本年は、講演会と併せて見学会を開催します。

主催：公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所  
協賛(依頼中)：一般社団法人日本塩工業会，全国輸入塩協会，日本特殊製法塩協会，日本イオン交換学会，日本膜学会，公益社団法人化学工学会，一般社団法人ラドテック研究会，公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団，日本海水学会，たばこと塩の博物館  
日時：2019年12月6日(金) 13:00~15:35

場所：公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所  
JR 東海道線・小田急線小田原駅から箱根登山バス(国府津駅行)または JR 東海道線国府津駅から箱根登山バス(小田原駅行)に乗車，バス停「酒匂小学校」で下車

スケジュール：

(講演会) テーマ：塩づくりの未来を支える次世代イオン交換膜

時間：13:00~15:35

会場：海水総合研究所 講習室

- ① 電子線グラフト重合法の基礎 早稲田大学大学院 客員教授 斎藤恭一  
高分子製フィルムを基材に選んで、電子線グラフト重合法を適用し、ボタン電池用隔膜としてのイオン交換膜が40年ほど前に開発され、現在も市販されている。製塩での電気透析に用いるイオン交換膜の実用化が進行中である。ここでは、電子線グラフト重合法の利点をまとめたい。
- ② 電子線グラフト重合法を用いた次世代イオン交換膜の開発 (公財)塩事業センター 海水総合研究所 主任研究員 永谷 剛  
電子線グラフト重合法を使って、どのようにイオン交換膜を製造するのか？膜メーカー、大学と塩事業センターとが共同で実施したプロジェクト研究(2006~2010年度)において、ゼロからの次世代イオン交換膜開発に携わった講演者がわかりやすく解説する。
- ③ 次世代イオン交換膜の実用化に向けて AGC エンジニアリング(株) 主幹技師 田柳順一  
プロジェクト研究の研究成果をもとに、AGC エンジニアリングと塩事業センターは、次世代イオン交換膜の実用化に向けて協力して研究開発を実施してきた。実用化に向けたこれまでの取り組みおよび現状について説明する。

(見学会)

時間：15:45開始 所要時間 1時間程度

見学場所：海水総合研究所 本館、実験棟

参加費：無料

申込方法：お名前，ご所属，ご連絡先(電話番号，E-mail)，講演会の参加の有無，見学会の参加の有無を海水総合研究所ホームページのイベント情報 (<https://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/>) よりご登録ください。

(受付開始(予定)：10月1日(火)、締切(予定)：2019年11月15日(金))

問合せ先：〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂4-13-20

公益財団法人塩事業センター海水総合研究所

Tel: 0465-47-3161, Fax:0465-48-6242, E-mail: [kouenkai@shiojigyo.or.jp](mailto:kouenkai@shiojigyo.or.jp)